平 成 28年 度

10年経験者研修計画書

福岡県教育委員会

人

	年度	年経験者研修教員用> -	
年経験者研修	施要綱		
·福岡県10年経験者研	修実施要綱		1
年経験者研修	施細目		
·平成28年度福岡県1	0年経験者	研修実施細目	2
年経験者研修	施上留	『意事項	
· 1 0 年経験者研修実施	上の留意事項	項	6
(資料1)10年経験者	研修年間事	業計画一覧	9
(資料2)10年経験者	研修のイメ	ージ	1 0
(資料3) 研修計画書作	成に当たっ [~]	ての参考資料	1 1
年経験者研修			
・研修教員事績及び指導!	助言者(様式	式1関係)	1 2
・10年経験者研修評価	(様式2-	1)	1 6
・研修計画書 その1(様式2-2)	1 9
・研修計画書 その2 (様式2-3)	2 0
•授業研究報告書(様式	3-1)		2 1
• 課題別選択研修報告書	(様式3-	2)	2 2
平成 年度研修	教員用提出	出書類記入上 注意	
· 1 0 年経験者研修提出	書類記入上	の注意	2 3

過年度未受講者研修内容及び提出書類と記入上 注意	
题十皮不文码有训修的各次仍使山首规 C 配入工 一定态	
・10年経験者研修の過年度未受講者について ――――――――	2 5
・10年経験者研修における社会体験研修について	2 6
・平成17年度10年経験者研修対象者社会体験研修計画書	2 7
・平成18・19年度10年経験者研修対象者社会体験研修計画書	2 8
・平成20年度10年経験者研修対象者社会体験研修計画書 ――――――	2 9
・10年経験者研修教員社会体験研修報告書 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	3 0
・社会体験研修依頼文(社会貢献活動、企業体験活動) ————————————————————————————————————	3 1
・受講年度の変更届様式例	3 3
・過年度未受講者用提出書類記入上の注意	3 4

この要綱は、教育公務員特例法第24条の規定に基づき福岡県教育委員会が実施する、福岡県10年経験者研修(以下「10年経験者研修」という。)の基本的事項について定めることを目的とする。

10年経験者研修の対象となる教員(以下「研修教員」という。)は、公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び幼稚園の教諭等として採用されて教職経験10年を経過する者及び通算して教職経験10年を経過する者とする。ただし、実施細目に定める条件に該当する者は、所属長の願いによりこの研修を免除することがある。

- (1) 県教育委員会は、県立学校教員に関する研修計画書を作成するものとする。
- (2) 市町村(学校組合を含む。以下同じ。)教育委員会は、県教育委員会が作成する研修計画に基づき、市町村立学校教員に関する研修計画書を作成するものとする。

(1) 校外研修

校外研修は、課業期間及び長期休業期間等に、教育センター等において、教科指導、 生徒指導等に関する研修を実施する。

(2) 校内研修

校内研修は、課業期間に、基本的に学校内において、校長の指導下、実際の授業実践 を通じた授業研究や教材研究、特定課題研究等を通じた研修を実施する。

この研修を円滑かつ効果的に実施するために、研修教員の在籍する学校の校長による福岡県10年経験者研修校長連絡協議会を適宜開催するものとする。

この研修の運営に係る連絡調整等を行うために、関係諸機関の実務担当者による福岡県 10年経験者研修運営委員会を適宜開催するものとする。

研修教員の在籍する学校の校長は、研修終了時に、研修教員の研修結果を評価し、所定の様式で、県立学校にあっては直接、市町村立学校にあっては市町村教育委員会を通して県教育委員会に提出するものとする。

県教育委員会は、研修に必要な経費を予算の範囲内で支出するものとする。

この要綱に定めるもののほか、10年経験者研修の実施に必要な事項については、高校教育課、義務教育課及び体育スポーツ健康課でそれぞれ作成する実施細目によるものとする。

この要綱は、平成26年2月10日から施行する。

この要綱は、平成28年3月25日から施行する。

平成28年度福岡県10年経験者研修実施細目

1 目的

2 対象

3 研修内容・期間

5 評価及び研修計画書、研修報告	書等

6 校内研修の指導助言者

7 校長連絡協議会

8 その他

10年経験者研修実施上の留意事項

義務教育課長

1 目的

平成28年度福岡県10年経験者研修実施細目8の規定に基づき、10年経験者研修の評価及び研修計画書、研修報告書等の様式、提出方法及びその他の研修の実施に必要な事項について定める。

2 研修計画書の配布

福岡県教育委員会は、10年経験者の円滑な実施を図るため、関係市町村(学校組合を含む。以下同じ。)教育委員会及び10年経験者配置校校長に、「10年経験者研修計画書」を配布する。

3 提出物及び提出期限

- 10年経験者研修の実施に当たっては、次の文書を作成し提出する。
- (1) 平成28年度10年経験者研修 研修教員事績及び指導助言者
 - 様式

研修教員事績及び指導助言者 (小学校) (様式 1-1) (中学校) (様式 1-2)

② 提出期限

ア 学校→市町村教育委員会 : 5月 6日(金)までに3部提出

イ 市町村教育委員会→教育事務所 : 5月13日(金)までにそのうち2部提出

ウ 教育事務所→義務教育課 : 5月20日(金)までにそのうち1部提出

- (2) 平成28年度10年経験者研修 評価及び研修計画書
 - ① 様式
 - ア 10年経験者研修評価 ----(様式2-1)
 - イ 研修計画書その1 (学校暦) -----(様式2-2)
 - ウ 研修計画書その2 (校内研修、校外研修) ―――― (様式2-3)
 - ② 提出期限

ア 学校→市町村教育委員会 : 6月17日(金)までに3部提出

イ 市町村教育委員会→教育事務所 : 6月24日(金)までにそのうち2部提出

ウ 教育事務所→義務教育課 : 7月 1日(金)までにそのうち1部提出

- (3) 平成28年度10年経験者研修評価、授業研究報告書、課題別選択研修報告書
 - ① 様式

ア 10年経験者研修評価 ____(様式2-1)

イ 授業研究報告書 ----(様式3-1)

ウ 課題別選択研修報告書 ----(様式3-2)

② 提出期限

ア 学校→市町村教育委員会 : 平成29年2月10日(金)までに3部提出

イ 市町村教育委員会→教育事務所: 平成29年2月17日(金)までにそのうち2部提出

ウ 教育事務所→義務教育課 : 平成29年3月 3日(金)までにそのうち1部提出

4 年間研修計画書作成のための資料

各学校において年間研修計画書を作成するための参考資料を次のとおり添付する。ただし、平成28年度福岡県教育センターにおける研修内容一覧及び各教育事務所における平成28年度研修事業計画書は、別途通知する。

- (1) 年間事業計画一覧(資料1)
- (2) 10年経験者研修のイメージ(資料2)
- (3) 研修計画書作成に当たっての参考資料(資料3)

5 校内における研修資料等の整理・保管

各学校においては、次年度からの10年経験者研修での活用に供するため、次の資料等を整理し保管するものとする。

- ・ 校内研修で使用した資料
- 10年経験者研修評価
- 10年経験者研修計画書
- 10年経験者研修報告書
- 研究授業の指導案等

6 各種提出物の作成に当たっての留意事項

- (1) 10年経験者研修評価の作成関係
 - ① 評価者
 - ア 評価は、校長が行うこと。その際、副校長や教頭の協力を得ながら行うこと。
 - イ 校長、副校長及び教頭は、授業観察、研究授業及び校内研修等を通じ、日常的に研修教員の学習指導や生徒指導・学級経営等の状況や実態等の把握に努めるとともに、適宜、主任や各校務分掌・委員会等の責任者の意見を聴取して研修教員の業務遂行状況を客観的に把握したり、研修教員と随時機会をとらえて面談を行ったりするなど意志疎通、相互理解に努め、客観的で公正な評価を行うよう留意すること。
 - ② 評価期間・評価時期
 - ア 評価期間は1年間とし、4月から翌年3月までの学校年度に合わせて設定することを基本 とすること。
 - イ 評価の時期は、研修教員の課題を把握し研修計画書を提出するまでの4月から6月までと、 年度末の計2回設定すること。
 - ③ 自己評価·評価結果
 - ア 校長は、あらかじめ評価項目・評価に当たっての考慮事項等について、研修教員に対し十 分な説明を行い、研修教員自身に自己評価を行わせ、それを参考として聴取すること。

イ 校長、副校長及び教頭が、可能な限り日常的に研修教員とのコミュニケーションを確保していくことに心がけ、相互理解を深めることはもとより、必要に応じ研修教員に評価結果を示して説明し、本人が客観的に自らの課題を明確に確認して研修に取り組めるようにすること。

(2) 研修計画書の作成関係

研修計画書は、校長が評価結果に基づいて、副校長や教頭と協力し、主幹教諭等を活用すること等により作成を行うこと。

- ① 授業研修等について
 - ア 研修内容を検討する際には、評価を通じて明らかとなった学習指導に関する研修教員の課題に十分配慮すること。
 - イ 2回の研究授業で取り扱う教科等については、小学校では原則として同一教科等とし、研修教員の課題に基づいて校長が研修教科等を決定すること。また、中学校では、原則として研修教員の担当教科を取り扱うこと。
 - ウ 県教育センターにおける小学校の教科別選択研修では、受講希望教科で決定した教科の研修を受講すること。また、中学校の教科別講義では、研修教員の担当教科の教科別講義及び 演習を受講すること。
- ② 課題別選択研修について 評価を通じて明らかとなった生徒指導・学級経営等に関する研修教員の課題について、各教 育事務所が作成する実施計画に基づき、選択すること。

7 実施に当たっての留意事項

- (1) 校内研修について
 - ① 授業研修を進めるに当たっては、研修教員自らが、評価に基づいた自己の課題解決を図るための主題等を設定し、実際に研究授業等を通しながら授業仮説の有効性の検証等を行うこと。
 - ② 授業研修の実施に当たっては、4日(教材研究・学習指導案作成2日、研究授業1日、授業 反省1日)を授業研修の1サイクルとし、年間2~3回を研修計画の中に位置付けること。
 - ③ 研究授業に際しては、原則として1回は指導主事の直接指導を受けること。
- (2) 校外研修について
 - 県教育センターにおける研修

ア 該当年度内に産休、育児休等に入ることが明らかな場合は、原則として休暇・休業明けの 次年度に受講すること。 (例:平成28年9月1日に復帰の場合は、平成29年度に受講)

イ 未受講者(欠席者)に対する措置

欠席日数に応じて次年度の県教育センターキャリアアップ講座を受講すること(欠席日数 と同じ日数受講すること。)。

② 各教育事務所における研修

研修を欠席する場合は、校長が所管の教育事務所及び市町村教育委員会に連絡して理由を説明し、受講期日を調整後、年度内に受講をすること。ただし、キャリア体験研修を欠席した場合は、次年度に受講すること。

8 その他

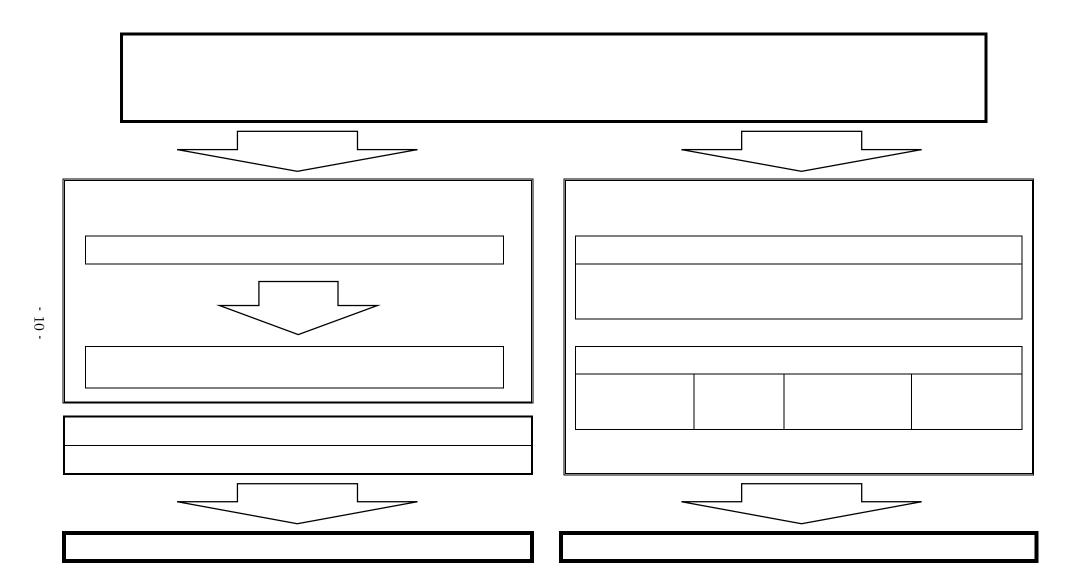
平成28年度の研修の受講等に必要となる文書、資料等の提出については、改めて依頼文書は発出されないので、平成28年度10年経験者研修計画書の記載に従って提出すること。

(資料1)

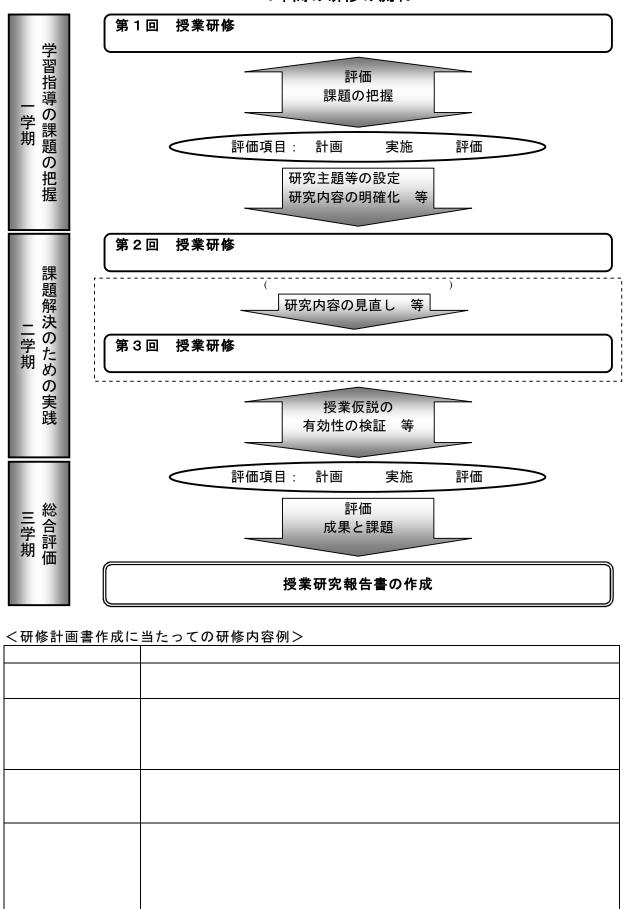
	会議·研修名	日数	内 訳		備 考
1	10年経験者 研修 (校内研修)	10日 ~ 15日	授業研修等	10日 ~ 15日	ア 研究授業、教材研究等を通じて、教科等に関する 指導力の向上を図る研修・・・8~12日 ・ 教材研究、学習指導案作成等 ・ 研究授業 ・ 授業反省 上記の4日を授業研修の1サイクルとし、 年間2~3回実施 イ 研究報告書作成・・・・・・2~3日
	(校外研修)		① 県教育センタ ーにおける研修	4日	・ 10年経験者研修講座5月・7月・8月・11月
		10日	② 各教育事務所 における研修	6日	ア 共通研修 ・ キャリア体験研修(1日又は2日) イ 課題別選択研修 A 学習指導、校内研究推進等

各教る

日



1年間の研修の流れ



4 10年経験者研修に係る提出書類様式

平成28年度10年経験者研修 研修教員事績及び指導助言者

立 小学校 校長氏名 職印

1 在籍校について

学	校	名	
立			小学校

2 研修教員について

※平成28年5月1日現在で記入すること。

				700 1 700 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
研修教員氏名	年齢	担	任	校務分掌等
		担任()年	
本年度教員免許更	新講習を	受講する予	定	
有		無		

(1) 職歴

	勤務期間]		所属名(会社、学校、行政機関など)・ 職名
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	

(2) 勤務経験年数

※休職・育児休業等の期間を除算した年数を記入すること。講師等の年数は含めない。

勤務先	小 学 校	中 学 校	県 立 学 校	その他	合 計
勤務経験年数	年	年	年	年	年

(3) 研修履歴

年 度	研究内容、発表、表彰、受賞、研修等の具体的事項

3 指導助言者について

指導助言者氏名	職名
	校長
	副校長
	教頭

指導助言者氏名	職名
	主幹教諭
	指導教諭

主任等	() 教務主任 () 学年主任 () 研究主任等 () その他 ()
主任等	() 学年主任 () 研究主任等 () その他 ()
主任等	() 学年主任 () 研究主任等 () その他 ()
主任等	() 学年主任 () 研究主任等 () その他 ()

平成28年度10年経験者研修 研修教員事績及び指導助言者

立 中学校 校長氏名 職印

1 在籍校について

学	校	名	
立			中学校

2 研修教員について

※平成28年5月1日現在で記入すること。

					,,	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
研修教員氏名	教科	年齢		担	任	校務分掌等
			()年	・副担任	
本年度教員免許更新	講習を受講する	5予定				
有	無					

(1) 職歴

	勤務期間]		所属名(会社、学校、行政機関など)・ 職名
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	
年	月~	年	月	

(2) 勤務経験年数

※休職・育児休業等の期間を除算した年数を記入すること。講師等の年数は含めない。

勤務先	小 学 校	中 学 校	県 立 学 校	その他	合 計
勤務経験年数	年	年	年	年	年

(3) 研修履歴

年 度	研究内容、発表、表彰、受賞、研修等の具体的事項

3 指導助言者について

指導助言者氏名	教科	職
		校長
		副校長
		教頭

指導助言者氏名	教科	職
		主幹教諭
		指導教諭

	主任等	() 教務主任 (() 教科主任 () 学年主任等	() ?	の他 ()
	主任等	() 教科主任 (() 学年主任等	() その他	()	
	主任等	() 教科主任 (() 学年主任等	() その他	()	
	主任等	() 教科主任 (() 学年主任等	() その他	()	

平成28年度10年経験者研修評価

_		1 % 2 0 + 1%	. 10 牛莊聚省 切修計画	
			<u> </u>	
		<u> </u>		
			a b	
			b	
			b	
			<u> </u>	
	+			
			a b	
			b	

	b b c	

	b b c	

	•	
H		4
(X	0
	•	

		-		an	
	習環境の整備に努め、教室空間の計画的・ 効果的利用に努めている			b	
1	効果的利用に努めている				
-					
				³ ∕	
ŀ				b	
				b	
	7 扣 什 ` 市 做 , 扣 逊 永 ` 声 l 和) 7 仁 之 之 之 7 1 1 7				
	る報告・連絡・相談が適切に行われている				
		+			

評価基準

а	在職期間が10年を経過した教諭に求められる程度以上に、優れている
b上	在職期間が10年を経過した教諭に求められる一般的な程度を十分に満たしている
b 下	在職期間が10年を経過した教諭に求められる最低限の程度を 満たしている
С	在職期間が10年を経過した教諭に求められる最低限の程度を満たしていない

平成28年度10年経験者研修年間研修計画書

													10		11		1	2				
_																						
-																						
	+													_	1							
L																						
L	_														1							
-															1							
\vdash																+						
H															+	-+						
-																						
-																						
-																+						
\vdash																						
-																						
L	_														1					1		
_																+				-		
L			Į		1			 <u> </u>	1			<u> </u>				L			1	J		
Γ										10	11	12										
F													İ			1						
H																1						
H																1						
H																t	1					

平成28年度10年経験者研修計画書

				1						
1 校内研修										
								$\vdash \vdash$		
2 校外研修										
(1)県教育センター(こおける研修									
(2) 各教育事務所における研修										
									·	

(小・中学校授業研修)

学校

印

職印

学 校 名 立

研修教員氏名

校長氏名

*	項目	例
	1	研究主題及び副題
	2	研究内容及び実践の概要
	2	
	3	研究の成果と課題
	4	研修を終了しての感想

1 A4判用紙3枚(片面)程度にまとめて3部提出すること。

2 研究授業で作成した学習指導案 (2~3回分) を必ず添付して提出すること。

<備 考>

 学校
 名
 立
 学校

 研修教員氏名
 印

 校長氏名
 職印

課題

※ 項目例

- 課題設定の理由 (なぜこの課題を選んだか)
- 2 課題解決のための方途 (課題を解決するための手立て)
- 3 実践例 (実際に取り組んだこと)
- 4 成果と課題 (課題研修を通して分かったこと、課題として残ったことや新しい課題等)

<備 考>

1 A4判用紙1枚(片面)程度にまとめて3部提出すること。

5 平成28年度研修教員用 提出書類記入上の注意

10年経験者研修提出書類記入上の注意

様式1-1

様式1-2

様式2-1

Γ	
F	
r	

様式2-3

様式3-1

様式3-2

10年経験者研修の過年度未受講者について

○ 研修内容及び評価については、未受講者が初めて対象者となった年度の「10年経験者研修計画」 に基づいて研修を実施すること。

<平成17~20年度対象の未受講者(平成7~10年度採用)>

- 校内研修(10~15日)
 - ① 授業研修等(10~15日)
 - ア 研究授業等を通じて、教科に関する指導力の向上を図る研修(8日程度)
 - ・指導案作成を伴った授業研修 (年間2回実施)
 - イ 研究報告書作成 (2日程度)
- 校外研修(15日)
 - ① 県教育センター等における研修 (4日) [10年経験者研修講座]
 - ② 各教育事務所における研修 (6日)
 - ③ 社会体験研修 (5日)
- ※ ③の未受講者については、平成28年度に実施すること。 なお、計画書・報告書の提出については該当年度の10年経験者研修計画書の 様式2-4を受講年度に作成・提出すること。

<平成21~27年度対象の未受講者(平成11~17年度採用)>

- 校内研修(10~15日)
 - ① 授業研修等(10~15日)
 - ア 研究授業等を通じて、教科に関する指導力の向上を図る研修(8日程度)
 - ・ 指導案作成を伴った授業研修 (年間2回実施)
 - イ 研究報告書作成 (2日程度)
- 校外研修(10日)
 - ① 県教育センター等における研修 (4日) [10年経験者研修講座]
 - ② 各教育事務所における研修 (6日)

)	
)	
)	
)	
))))	

平成17年度10年経験者研修対象者社会体験研修計画書

研修教員氏名					学校名	<u>\(\frac{1}{\frac{1}{3}} \) .</u>	学校
研修教員採用年月日	平成	年	月	П	校長氏名		職印

< 企業体験活動 • 社会貢献活動 >

回	活動日時	企業名・事業名等 (経営者・主催者)	活	動	内	容
1	平成 年 月 日 曜日					
2	平成 年 月 日 曜日 (: ~ :)					
3	平成 年 月 日 曜日 (: ~ :)					
4	平成 年 月 日 曜日 (: ~ :)					
5	平成 年 月 日 曜日 (: ~ :)					

平成〇〇年度10年経験者研修対象者社会体験研修計画書

研修教員氏名					学校名	<u> 77.</u>	学校
研修教員採用年月日	平成	年	月	目	校長氏名		職印

※受請	^{‡年度} 平成 年度受講	※選択活動を○で囲む 企業体験活動	動 •	社会貢	献活重	力
□	活動日時	企業名・事業名等 (経営者・主催者)	活	動	内	容
1	平成 年 月 日 曜日					
2	平成 年 月 日 曜日					
3	平成 年 月 日 曜日					
4	平成 年 月 日 曜日					
5	平成 年 月 日 曜日					

1 0 年経験者研修対象者社会体験研修計画書

研修教員氏名					学校名	<u> </u>	学校
研修教員採用年月日	平成	年	月	Ш			
10年経験者研修実施年度					校長氏名		職印

	※社会体験研修受講年度 平成	年度受講	※選択活動を○で囲む 企業体験活動	•	社会貢献活動	
--	--------------------------	------	----------------------	---	--------	--

口	活動日時	企業名・事業名等 (経営者・主催者)	活	動	内	容
1	平成 年 月 日 曜日 (: ~ :)					
2	平成 年 月 日 曜日					
3	平成 年 月 日 曜日 (: ~ :)					
4	平成 年 月 日 曜日 (: ~ :)					
5	平成 年 月 日 曜日 (: ~ :)					

10年経験者研修教員社会体験研修報告書

10年経験者研修実施年度 平成 年度受講

社会体験研修実施年度 平成 年度受講

学 校 名 学校 印 研修教員氏名 校長氏名 職印

(研修教員採用年月日 : 平成 年 月 日)

回	活動実施日時	活動内容及び感想	経営者・主催者の確認
1	月 日曜日 : ~ : 活動先 Tu		左のとおり活動しま した。 平成 年 月 日 所属 氏名 印
2	月 日曜日 : ~ : 活動先 Tu		左のとおり活動しま した。 平成 年 月 日 所属 氏名 印
	月 日曜日 : ~ : 活動先 Tu		左のとおり活動しま した。 平成 年 月 日 所属 氏名 印
4	月 日曜日 : ~ : 活動先 Tu		左のとおり活動しま した。 平成 年 月 日 所属 氏名 印
5	月 日曜日 : ~ : 活動先 T _{EL}		左のとおり活動しま した。 平成 年 月 日 所属 氏名 印

<	活動を終えて	(感想)	>

考> <備

- ※ A4判用紙1枚にまとめて3部提出すること。 ※ 経営者・主催者の確認の印については、公印、私印いずれも可。

()

	Į.				
		•			

()

()

過年度未受講者用提出書類記入上の注意

様式2-4			
様式3-3			